

地域の皆様に支えられて
発足50周年を迎えました。

助け合い、 まごころこころ すざか

(村山町
上原ます子書)



小中学生ボランティア体験教室（仁礼コミュニティセンターにて）

- P2 • 会長年頭のあいさつ
• 年賀状御礼
- P3 • 助け合い推進大会PR第1弾
• はじめてボランティア講座
- P4 • 小中ボラ体験教室閉講報告
• 義援金報告
- P5 • 第7次災害ボランティア派遣

謹賀新年
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 須坂市社会福祉協議会
役職員一同
平成24年 元旦

2012 1



社協は社会福祉法第109条に規定された地域福祉を推進する団体です。
社協が実施する様々な福祉事業は、皆さまからの社協会費と共同募金が主な財源です。

再生紙を利用しています。

「助け合いのまちづくり」を

社会福祉法人須坂市社会福祉協議会 会長 吉池 武

あけまして
おめでとうございます。

皆様には日々から社会
福祉協議会にお寄せいただき
いてあります深いご理解と
多大なるご支援、ご協力に
対しまして厚く御礼申し上
げます。

昨年は3月に未曾有の大

災害が東日本を襲い、翌日
には長野県北部地震、6月
末には松本地域での大地震、
7月には新潟県・福島県地
方の記録的な豪雨、9月に

は紀伊半島地方を始め国内
の広範囲に亘る台風12号・
15号による風水害と大きな
自然災害が発生し、加えて
原発事故とこれまでにない
大変厳しい年となりました。
本会においても東日本大

震災・県北部地震への義援
金42、743、717円
を受付し、日本赤十字社を
通じ被災地へ、また災害ボ
ランティアは128名の登録を
いただき延べ496名の被災地
への派遣や市内での活動を行
い、多くの皆様から「助け
合いの心」をいただきま
した。

改めて御礼を申し上げま
す。
さて、本会は社会福祉法
において定められた「地域
福祉の推進を図ることを目
的とする団体」として活動
し、昨年50周年を迎えた
この時代、何時何処で何
が起きるか解らない状況に
あると思います、いざと言
う時自分に何が出来るのか、
また自分の周りに「助けて」
合ひ起こし」を合い言葉に、
地域の中で全ての人達があ
互いを尊重しながら住民の
皆様が主体となつて人と人
とのつながりを持った「支
え合い・助け合い」の福祉

ましたが、今回の大震災で
改めて「支え合い・助け合
い」の重要性を痛感したと
ころです。
大震災での報告によりま
すと、ひとり暮らしの方が
ご近所で気軽に相談できる
相手や、日頃からご近所同
士のつながりある地域では、
早い段階からお互い声を掛け
合い避難を開始したそう
で、多くの人命が救われた
と聞いています。

本年は皆様のご多幸とご
健勝を心からお祈り申し上
げ、年頭の挨拶とさせてい
ただきます。



ひとり暮らしの高齢者世帯へ、ボランティアの皆さんのが協力をいただき、手作りの心のこもった年賀状をお届けしました。
【協力団体】
趣味の会様・須坂市連合婦人会様・ふれあい絵手紙の会様・信州須坂町並みの会様・須坂商業高等学校様・常盤中学校様・相森中学校様・墨坂中学校様・東中学校様
ご協力頂いた皆様方、ありがとうございました。
（御）
（礼）

予告

助け合い推進大会

「助けて」と
いってみよう

平成24年2月18日（土）
午後1時半～
メセナ小ホール



昨年の寸劇の様子

主催
（事務局）
須坂市社会福祉協議会
（事務局）
須坂市社会福祉協議会
（事務局）
須坂市社会福祉協議会

す。
のメンバーがお手伝いしま
す。
なときは助け合い推進会議
のメンバーがお手伝いしま
す。
からこそ、「頼みづらいこ
と」がありますよね。そん
な

- ・表彰
- ・助けられ大賞発表
- ・涙あり笑いありの寸劇
- ・シンポジウム
- なども予定しています。
詳細は次号でお知らせし
ます。

どうぞ期待ください。

しかし、色々なお話をし
ていろうちに「おぐれこの
お店は10年以上の行きつけ
なんです」とおっしゃって。
そのお店の方に「グミ出しの
お手伝いをお願いすること
となりました。

身近にいる友人や知人だ
とありますよね。そん
な

ある方から
こんな相談がありました
「グミ出ししてくれる」

今年は地域のなかで共に
支えあうまちづくりをめざ
し、出来ることからボラン
ティア・地域のお助けをは
じめてみませんか？

“地域のお助け隊” 養成講座

はじめてボランティア講座

大勢のご参加お待ちして
います。
大勢のご参加お待ちして
いますが、そのご近所の方が、
急な都合でしばらくグミ出
しを手伝えなくなってしま
つたとのことでした。

男女問わずどなたでも
何がはじめてみたいと考
えている…
ボランティアに関心があ
る方。ボランティア活動中
の方。

対象者

下記参照

会場

参加費

200円 保険代含む
(ボラ保険加入者は無料)

申込み

託児(事前申込必要)

その他

2月3日（金）までに
社協へ
245-1619

日 程	内 容	講 師
2月15日（水） 13：30～15：30 会場 社会福祉協議会	第1回 地域の強化 (仮題)「地域のお助けさん」	フリージャーナリスト 内山二郎氏 長野市ボランティアセンター コーディネーター 戸田千登美氏
2月23日（木） 13：30～15：30 会場 社会福祉協議会	第2回 傾聴ボランティア (仮題)「傾聴の考え方と体験」	長野市ボランティアセンター傾聴電話運営委員 竹中禎子氏
3月5日（月） 13：30～15：30 会場 社会福祉協議会	第3回 楽しく認知症を知ろう (仮題)「地域で見守り支え合い」	オレンジキャラバン 松代地区民生児童委員、OBの皆様
3月10日（土） 13：30～16：30 会場 須坂市中央公民館	※平成23年度「ボランティア市民活動交流集会」と合同開催 第4回 コミュニケーションづくり (仮題)「レクリエーションから笑顔の輪」 ボランティア発表 「各団体、個人の活動発表 ・ごろ助け合い事業」	財日本レクリエーション協会 レクコーディネーター・福祉レクワーカー 町季与子氏 発表希望 団体グループ・個人ボラ募集中！ (1月20日(金)までに社協へご連絡ください)

小中学生ボランティア体験教室が閉講



園児の前で先生になりました！

第1回 開講式仲間づくり
レクリエーション
（7月16日～8月4日）
内気なみんなもだんだん仲良くなれました。（東部保育園・日野保育園）

第2回 保育園の先生になつてみよう
（7月16日～8月4日）
初めての仲間、最初は（7月16日社協2階）

小学5年生から中学3生までの40名（男9名女31名）のみなさんが、様々な31年体験や関わりを通して社会とのつながりに気づき、感動し、共感し、連帯することを目的に7月から6回シリーズで開催をしました。

第3回 災害ボランティア
講座に参加しよう
災害の事について学びました（8月7日礼川ユースセンター）

第4回 宿泊体験&デフバスケットボール
体験（9月3日～4日永楽荘）



老人センター永楽荘で宿泊体験をして、聴覚障がいのある皆さんとバスケットボールをし、交流をしました。（デフとは“耳が聞こえない”という意味です）



ピラフやクリスマスケーキを作りました！

第5回 ふれあい広場
街頭募金活動
たくさんの人とふれあいました（10月15日メセナホール）



第5回 ふれあい広場
街頭募金活動

参加者からの感想です

★料理が上手くできました。今までの中でも一番楽しかった。（小5女子）

★他の学校の仲間と仲良くなれました。（小6男子）

★初めはあまり人と話しが出来なかつたけど、どんどん話せるようになつて楽しかつた。（中2女子）

今年の目標は？

★学校を1日も休まない。

★来年は中学生、部活をがんばりたいし新しい友達をたくさん作る。（小6女子）

★受験勉強をがんばり、高校に合格したい。（中3男子）

「ボランティアって何だろう？」

ボランティアはより良い社会を築いていくために、自分の意思で参加して行動することです。参加した子供達が少しでも関心を持ったこと、また、自分のできることをこれから的生活に生かしていくつもえればと願っています。



メセナ少年少女合唱団より贈呈

東日本大震災（順不同・敬称略）
仁礼小学校PTA 木原宏治
メセナ少年少女合唱団
財団法人須坂市障害者福祉協会 夏端町文化部小林貞雄（栄村）その他匿名多数
義援金は日本赤十字社に送金され、義援金配分委員会において個別の被災世帯ごとに配分されます。

義援金報告

東日本大震災

『心が「こもってこじ りもじべ~』

第7次災害ボランティア派遣

再び郡山市の仮設住宅へ

赤十字奉仕団を中心としたボランティア9名と職員2名で、12月2日に、原発事故で住み慣れた富岡町から郡山市の仮設住宅に避難している方に、炊き出しの支援をしてきました。

8月にも須坂から高校生が訪問しましたが、その時に迎えてくれた現地のNPO「ハートネットふくしま」では今も炊き出しを継続しています。



50人の行列

仮設住宅での炊き出しは皆さん鍋を持ってこられました。出来上がる前から50人の行列ができるほど大盛況でした。

用意した200食の麺はあつという間に終わり、残りは、中華丼の具として提供しました。

ただ、中華丼の具として提供しま

された方もあり、業務

終了後、その場で食べてい

ただきました。

「めずらしいものをいただき何よりうれしい、心がこもっているね。福島弁でいうと、『うまいべ~』」の言葉をいただき、前日から準備した苦労が報われました。

炊き出しコンテスト優勝作品を提供

10月15日のふれあい広場で、社協50周年事業として開催された「炊き出しコンテスト」で優勝した赤十字奉仕団の皆さん、「須坂産酒粕・味噌を使ったあんかけ焼きそば」を提供しました。

酒粕の香りが食欲を誘い、味は須坂の5社の味噌をブレンドしています。コンテストでは、若い人からも支



現地のお茶会で交流

「ハートネットふくしま」はお茶会を開催しており、誰もが気軽に立ち寄れ、仮設住宅という新たなご近所付き合いには、大切な交流の場です。

須坂市内のサロンで活躍している横川健治さんが手品を披露し、30名を超える参加者から、大歓声があがりました。

○ 参加者の感想

到着したときは、あまりにも広大な仮設住宅にびっくりした。人影が見えず、不安だったが、大勢の行列ができたときは、期待されているのだと感じ、少しあせつてしまつた。住民の皆さんは明るく、長野県から来たことに、とても喜んでいただいた。炊き出し支援は現地の経済活動の妨げになるといわれているが、原発の避難者の生活は厳しそうで、ここでは必要だと感じた。

ハートネットの方々には、いろいろと手伝つてもらい、申し訳ないというと、吉田理事長から「そんなこと気にしないで、同じボランティアだもの」と言われ、ボランティアの絆を感じた。冬場は一時帰宅もできないようであり、被災者の苦労は計り知れない。須坂から水を持つていったが、「この水にはセシウムはないね」と言われ、言葉を返せなかつた。社協で企画してもらひうど、遠くでも行く気持ちになれる。これからもできることは協力していきたい。



社協情報掲示板

平成24年1月1日第314号（毎月1回1日発行）



••••• あなたかなご厚志に •••••
• 感謝いたします。 •••••

○軍恩連盟豊洲支部様

130,126円

○匿名様 5,000,000円

○匿名様 10,000円

○匿名様 5,000円

○匿名様 5,000円

○故 黒岩 春二様 テレビ

○三益消防機材様 古切手多数

○西尾 美貴子様 5,000円

佐藤 とみ江様

○川瀬様 アクリルタワシ多数

○須高子ども劇場様 古切手多数

○イオン須坂店様

毎月11日実施されている「幸せの黄色いレシートキャンペーン」

(イオン須坂店様に各施設のボックスが設置しており、お客様が買物をした黄色いレシートを社協へ投函して頂いた合計金額1%を寄贈)

洗剤…4,700円分

…11月15日～12月14日 受付分です…

秘密 厳守 日常生活の悩み・法律に関する 心配ごと相談所 相談無料

①日常的な悩み・心配ごとの相談(専門相談員)

相談会場	相談日	相談時間
須坂市社会福祉協議会 来所・専用電話相談 248-9977	月曜日～金曜日	午前9時～午後4時 (随時)
すざか女性未来館 (中央公民館)1階相談室	12日(木) 26日(木)	午前9時～12時

②法律に関する相談(無料・完全予約制)

相談会場	相談日	相談時間
すざか女性未来館 (中央公民館)1階相談室	12日(木) 26日(木)	午後1時～4時

*弁護士がご相談に応じます。お一人20分以内です。

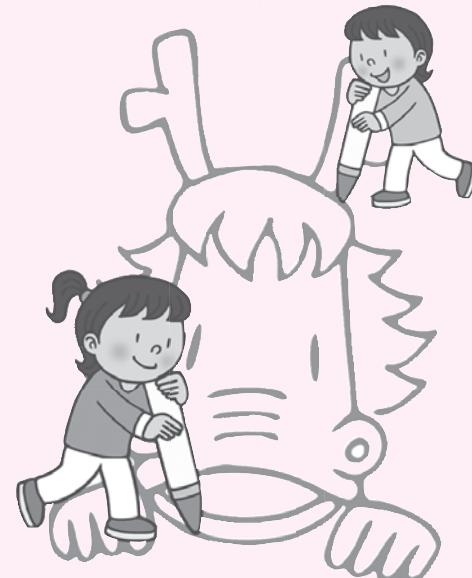
*完全予約制 電話 248-9977または245-1619

献血情報

日時	平成24年1月19日(木) 午後2時00分～3時30分
場所	J A 須高豊洲支所
日時	2月22日(水) 午前9時30分～11時30分
場所	野辺町公会堂
日時	2月22日(水) 午後1時30分～3時30分
場所	下八町公会堂

65歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

※この他、献血時の検査及び問診内容(病気・服薬等)や、海外から帰国後4週間以上経過していないと献血をお受けできない場合があります。



★2012年版社協カレンダー★

無料ダウンロードのお知らせ

下記のアドレスまたは検索でカレンダーがダウンロードできますので、ご利用ください。

<http://www.suzaka-shakyo.jp>

または【須坂市社協】で検索してください。

ご意見ご要望をお寄せ下さい。☎ (026-245-1619)・FAX (026-246-0054)・
メールアドレス (cocoro@suzaka-shakyo.jp)・ホームページURL(<http://www.suzaka-shakyo.jp>)

発行人 社会福祉法人須坂市社会福祉協議会 長野県須坂市大字須坂476-1

☎ 026(245)1619 FAX(246)0054

印刷 佐藤印刷株式会社